

【6月定例会 議長あいさつ】

第2回定例会に先立ち、一言ごあいさつを申し上げます。

6月に入り、吹く風に初夏の気配を感じ、あじさいの花が
いっそう鮮やかに映える季節を迎えます。

梅雨入りも間近ですが、気象庁では、6月から8月にかけての降水量は平年並みか多くなる見込みと発表しました。ここ数年、毎年のように各地で集中豪雨などが観測され、多数の人的・建物被害が発生しています。さまざまな被害は、日ごろからの備えによって減らすことが可能です。梅雨はこれから本番ですが、災害に備えた対策にも力を入れていく必要があると、改めて感じております。

さて、新型コロナウイルス感染症は、発生から1年半経った今も猛威をふるい、このところは、変異株による感染症が増加傾向にあります。このような中、コロナ収束の切り札ともいえるワクチン接種が始まり、本町でも、医師会や峡南医療センターの協力により、高齢者への接種は7月末までに終える計画で順調に進んでいます。

延期となっていた東京オリンピックも、開催に向け準備が進められているところですが、新型コロナウイルス感染症対策を万全なものとし、国民の安全を守ることを優先に考えていただきながらの開催を望んでいるところであります。

明るい話題としましては、男子ゴルフの海外メジャー「マスターズ」で、松山英樹選手が日本人初優勝の歴史的快挙を成し遂げました。さらに、その優勝の拍手が沸き起こる中、松山選手を支えてきたキャディーが、コースに向かい、脱帽

してお辞儀をした行為は、世界中から称賛されました。

選手を陰で支え、競技への敬意を表した謙虚な心が、多くの人に感動を与え、日本人として誇らしく思えた瞬間でした。

また、競泳の池江璃花子選手は、白血病を乗り越え、日本選手権で4冠を果たし、オリンピック出場が内定しました。池江選手の「努力は必ず報われる」という言葉、奇跡とも呼べる回復力、精神力の強さ、自分を信じるアスリートの力に、勇気と感動をもらいました。

町内に目を向けますと、昨年度はコロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの行事が中止となりましたが、今年度は大法師さくら祭りを開催することができ、徹底した感染症対策を講じる中で、車両も約7900台の実績となりました。

コロナ禍で、制約された不安な日々を過ごす中、日本さくら名所百選の美しい桜を見ることで、また頑張ろうと思えたという声を聞き、前向きに、心豊かな気持ちになっていただけたことを本当に嬉しく思っています。

また、感染拡大防止の対策が長期に及んでいることから、新たなプレミアム商品券事業が6月から開始されました。感染症で町内消費に与える影響を緩和するための施策ですので、多くの方に利用していただき、町の活性化につなげてほしいと感じています。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う3回目となる緊急事態宣言が、東京や大阪など10都道府県に出されています。変異株のウイルスが出るなど、予断を許さない状況ですが、本町でも、ワクチン接種をはじめとした感染症の収束に向け

た取り組みと並行し、町のさまざまな課題解決に向けて、時代に即した施策を講じていく必要があります。

我々議員の任期も残り1年を切りました。議会の質の向上、さらなる議会改革を進め、町民の皆さまが安心して、笑顔で暮らせるまちづくりのため、議員一丸となって取り組んでいかなければならないと考えております。

今定例会も、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴席を13席に制限させていただいております。

なお、一般質問の日には、傍聴席に入れない皆さまのため、1階会議室においてテレビモニターを設置しますので、ご利用いただきたいと考えております。

今定例会は、条例制定及び改正をはじめ、補正予算などについて、審議をお願いすることになります。

条例制定については、所管のひとづくり常任委員会に付託し審査を行うこととしております。

議員各位におかれましては、健康に十分ご留意され、活発な議論をお願い申し上げ、あいさついたします。